【推奨】ipadにダウンロードしたデータのバックアップ

「ipadの電源が入らない」などの不具合が起きた場合、メーカーが修理を行います。 ipad修理時にデータは消去される為、<u>修理から戻った時に保存データは残っていません</u>。 学生の皆さんには、「ipadにダウンロードしたデータのバックアップ」を推奨します。 バックアップの保存先は、「Microsoft OneDrive」です。 下記の手順に従って、各自、バックアップを行って下さい。

<u>1.OneDriveインストールから初回起動まで</u>

まずAppStoreでOneDriveをインストールします。



※写真はWindowsのPCからAppStoreのOneDriveのページを開いたもの

インストールが終わったらホーム画面にあるOneDriveのアイコンをタップします。



すると以下のように表示されます。



キャンセル

アカウントに設定しているパス ワードを入力する		
Cこに先程入力したメールアドレスが表示されます		
パスワードの入力		
パスワード		
パスワードを忘れた場合		
別のアカウントでサインインする		
サインイン		
利用規約	プライバシーと Cookie	
コードを取得		

サインインが完了すれば、OneDrive内のデータが表示されます。



iCloudDriveの「ダウンロードフォルダ」にあります。

<u>2.手動アップロードによるバックアップ(写真・動画などのファイル)</u>

まず、OneDriveへの保存を行うにあたって、初期設定を行います。 上向き矢印が書かれたアイコンをタップ→その他をタップすると、 OneDriveを保存先として選ぶためのスイッチがあるので、これをオンにします。 例:写真をアップロードしたい場合







この辺りにアカウントのメールアドレスが記載されております

